

5歳児の子どもの育ち

5歳児の姿

滑らかな全身運動

全身運動が滑らかになり、「ボールをつきながら走る」「跳び箱をとぶ」「竹馬に乗る」など様々な運動に意欲的に挑戦しようとする。

体全体を協応*させた複雑な運動

「なわとび」「ボール遊び」など、体全体を協応させた複雑な運動をするようになる。また、「鬼ごっこ」などの集団遊びは心肺機能が高まり、活発に体を動かしたり、自ら挑戦したりする姿が多く見られるようになる。

*体の異なる器官や部位を同時に、適切に動かすこと

5歳児動きと遊具

大型積木

発達が見込まれる動作

- ① 友だちと一緒に運ぶ
- ② バランスを考えて積む
- ③ 積み重ねた上に乗ったり、下にもぐったりする



なわとび

発達が見込まれる動作

- ① リズミカルにとぶ
- ② 友だちと一緒にとぶ
- ③ 走りながらとんだり、向きを変えてとんだりする



ボール

発達が見込まれる動作

- ① 片手でボールをつく
- ② 目標にむかって投げる
- ③ あたらないようによける
- ④ ボールをキャッチする



遊具と子どもの姿

01

大型積木

友だちと一緒に遊ぶ



友だちの考えを理解し、互いに動きを合わせないと一緒に遊ぶことは難しい。このような経験が大切。

バランスを考えて積む



何を作りたいのか、どのように積んだら安定するのか。友だちに自分のイメージや考えを伝えながら、友だちの考えも知り、共通の目的をもって取り組む（協同的な活動）。

02

なわとび

友だちととぶ



2人や大人数で一緒にとぶ楽しさや達成感。縄の動きだけでなく友だちの動きも感じながらとぶことが楽しさを増大させる。

向きを変えてとぶ



03

ボール

片手でボールをつく



自分なりに試行錯誤をしながら遊んだ経験が、難しい技能の土台になる。

的に向かって投げる



的の種類や置く場所、そして点数化するなど遊び方は多様。子どもが楽しみ方を見つけ、挑戦しようとするのが遊びを継続させる。